



一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟が 業界で働く女性のためのキャリアアップイベントを全国 8 都市で開催

一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟（理事長：吉崎 正弘、所在地：東京都中央区、以下 JCTA）は、ケーブルテレビ業界で働く女性を対象としたキャリアアップイベント（JCTA WOMAN WORKSHOP）を、2019年1月から3月にかけて全国 8 都市で開催いたしました。

従来にも増して優秀な人材の確保と育成は業界共通の課題であり、これまでも、さまざまな活動を行っています。当イベントはその一環として実施しているものであり、これまでの女性活躍推進に向けた取組みの経緯と、8 都市開催の実施概要は以下の通りです。

こうした取組みが様々な業界に広がり、名実ともにダイバーシティが浸透・定着するきっかけの一つになれば幸いです。

■ ケーブルテレビ業界の女性活躍推進に向けた活動について

JCTA では男女が共に輝く多様な働き方の実現により、業界としての競争力を高めることを目指して、2016年4月、「人財・ダイバーシティ推進連絡会^{※1}」の傘下に「女性活躍推進部会^{※2}」を設置し、活動を重ねてまいりました。

2017年4月には、全ての意欲ある人が活躍できる機会や場づくりを後押しすべく、「女性活躍推進に向けた業界行動宣言」も発表しました。また、全国のケーブルテレビ会社で働く女性社員が“会社の垣根を超え、仕事に取り組んでいくうえでの悩みや不安”を共有し解決する糸口をつかむことを目的としたキャリアアップイベント（JCTA WOMAN WORKSHOP）を、2016年の初開催（開催地：東京）に続き、2017年からは首都圏への出張が難しい方にも参加いただけるように、全国各地での開催を行ってまいりました。

◇2017年度は6都市（秋田、東京、大阪、名古屋、富山、大分）で開催し、70社から190名が参加。

◇2018年度は8都市で開催し、86社157名が参加（詳細は後述）。

■ 2018年度 JCTA WOMAN WORKSHOP 全国 8 都市開催について

開催支部	開催日	開催場所	備考
北海道	2019年1月23日(水)	札幌市/(株)ジュピターテレコム	
中国	2019年2月7日(木)	広島市/(株)ちゅピ COM ふれあい	
近畿	2019年2月15日(金)	大阪市/(株)ジェイコムウエスト	「ケーブルテレビテクノフェア in Kansai2019」と同時開催
東北	2019年2月19日(火)	青森市/青森ケーブルテレビ (株)	
四国	2019年2月28日(木)	丸亀市/オークラホテル丸亀	「四国支部スプリングセミナー」と同時開催
九州	2019年3月8日(金)	福岡市/那の津メディアプラザ	
信越	2019年3月11日(月)	上越市/上越ケーブルビジョン(株)	
東海	2019年3月15日(金)	名古屋市/(株)コミュニティネットワークセンター	

【JCTA WOMAN WORKSHOP 主要プログラム】

「女性活躍推進部会の取組説明」「オリジナルメッセージ動画〈業界の女性リーダーたち〉上映」「終了後の懇親会（自由参加）」を共通プログラムとした上で、それ以外は、開催地事務局がエリアの事情や参加者のコンディションを踏まえながら、以下メニューをアレンジしてプログラムを構成しました。①基調講演、②パネルディスカッション、③グループワーク、④映画「ドリーム（※）」の上映、⑤開催地事業者の社内見学。

※ 「逆境にも負けずに夢を追い続けた女性たちの姿は、あらゆる『働く女性』の背中を押してくれるはず」という趣旨で、関係者のご協力のもと、映画「ドリーム」を上映。

特に、業界内外で実績のある方がロールモデルを務めるグループワークは、互いの悩み相談・キャリアアップのためのヒント探しなどを通じて、様々な気づきとなったり、今後の業務への自覚が醸成されたり、同エリア内のネットワーキングに繋がるなど、参加者から好評を得ております。

【JCTA WOMAN WORKSHOP 2018 年度の実施サマリー】

各地開催のアフターレポートとして「実施サマリー」を「別紙」にてご用意しました。ご参照いただければ幸いです。

ケーブル業界が一丸となり業界が持続的に成長していくために、人財・ダイバーシティ推進連絡会および女性活躍推進部会は、全従業員が働きやすい環境の整備やワークライフバランスの推進を加速的に進めることを目的に活動してまいります。その一環として、今後は、女性社員のキャリアアップのみならず、業界内各社での施策推進の一助とするため、業界内の有用な施策を共有する「ダイバーシティ ベストセレクション」の取り組みを始めとした施策を実施してまいります。

※1 「人財・ダイバーシティ推進連絡会」(主査:株式会社ジューピターテレコム 徳田康次)

2013 年より、業界をあげた人財の底上げとネットワーキングを目的に、人財育成およびダイバーシティ推進に取り組んでいます。主な内容は以下の通りです。

① 経営者塾

多様化する顧客ニーズと競合環境の激化に対応し、業界競争力を向上するために、オペレータの経営者を対象とした経営者塾を 2017 年度より実施。

② 次世代リーダー育成塾

業界の明日を担う人財の育成、各社間の連携強化・人脈形成を目的に、業界各社の中堅クラス社員を対象とした研修を 2014 年度より実施。2018 年度で 5 年目を迎え、112 社の事業者から、のべ 731 名が参加しています。2018 年度は 5 つの塾（地域コミュニケーション塾/営業塾/技術塾/顧客対応塾/マーケティング塾）を開講いたしました。

③ ケーブル人財フォーラム

業界の人財育成・女性活躍推進の取り組みを内外に発信するため、2014 年度より年に 1 度開催し、全国から経営者や研修受講者が一堂に会し、人財育成への有用な議論などを行っています。

※2 「女性活躍推進部会」(部会長:株式会社秋田ケーブルテレビ 飯塚雅子)

2016 年 4 月に設置。全国のケーブルテレビ事業者の有志によって構成されています。また、「女性活躍推進は女性だけの問題ではなく、男性にも共通の経営課題である」との観点から、事務局には男性および経営者層も加わり、多様性と中長期視点から、有効施策推進のための議論を重ねています。

～本件に関するお問合せは下記までお願いいたします～

一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟 人財・ダイバーシティ推進連絡会事務局 担当：二瓶、芹田、高久

E-mail : jcta-seminar@catv.or.jp TEL : 03-3566-8200

2019年4月18日 リリース

JCTA WOMAN WORKSHOP 2018年度 実施サマリー

一般社団法人 日本ケーブルテレビ連盟
人財・ダイバーシティ推進連絡会 事務局

JCTA WOMAN WORKSHOP（全国8都市開催）について

【目的】

- ・業界内外で実績のある方による講演、ロールモデルとのグループトークなどを通じて、有能な人財の活躍のため、障壁を越えるためのヒントを提供する。
- ・少人数形式で、密度の濃い交流会を目指す。東京開催のイベントには出張しづらい各地事業者の女性社員に参加いただけるように、地方で開催。
- ・社外ネットワーキングの機会が比較的少ない女性社員が、県内/支部内/全国へと横のつながりを形成していくきっかけとする。

プログラム

- ・講演会、ロールモデルを中心としたグループトーク等をコアプログラムとし、開催地ごとにアレンジ。
～ 各地開催終了ごとに、事務局全体でレビューの上、プログラム改善を重ねる。
- ・15～20名程度を適正規模として募集（4～5名のグループトークが有効という経験値、ロールモデルの確保）。

ロールモデル

- ・ロールモデルが、WORKSHOP運営の重要な役割を担う。
- ・女性活躍推進部会の部会長、副部会長、講演者、事務局などを中心に、開催地事務局と相談しながら、開催地における管理職以上のロールモデルも選出。
※部会長（秋田ケーブルテレビ取締役 飯塚 雅子 氏）、副部会長（J:COM CEO室広報部長 石井 暁美 氏）
講演者（ソニー・ピクチャーズエンタテインメント DTH/デジタルプラットフォーム営業部 本部長 小澤 浩子 氏）などが中心メンバー

参加者

- ・女性社員のための会としてスタートしており、原則女性。
- ・ただし、男性経営者や管理職に対する傍聴参加の案内も重ね、傍聴者は増える傾向。
- ・2018年度は一部エリアで、パネルディスカッションやグループトークに男性管理職も参加。

開催地

- ・【新規開催】は5カ所
～ 連盟本部が主導で、開催地事務局（女性活躍推進部会メンバー）と連携。
～ 地方開催2年目となる2018年度は、連盟の11支部のうち、未開催支部における開催を優先し、2順目となる支部では新たな県での開催など、開催地の拡張で、参加者の裾野を拡大。
- ・【自走エリア】は3カ所
～ 2018年度は、**支部主導で自主的に企画運営を実施する新スキーム**にチャレンジ、連盟はサポート役。
～ 2017年度の開催経験を活かし、現地の女性活躍推進部会メンバーが事務局としての中心的な役割を担う。

2018年度 全国8都市 開催概要

■開催場所一覧 ※自走エリアは、2018年度からスタートした新スキーム。支部主導で自主的に企画運営を実施、連盟はサポート役。

	開催日	開催場所 ()は支部名	参加対象支部			備考
			局数	参加人数	全参加者	
新規エリア	2019年1月23日(水)	札幌(北海道)	8	15	26	
新規エリア	2019年2月7日(木)	広島(中国)	14	14	22	
自走エリア	2019年2月15日(金)	大阪(近畿)	9	42	60	テクノフェア同時開催
新規エリア	2019年2月19日(火)	青森(東北)	9	13	22	東北支部、2順目の県として青森にて開催
新規エリア	2019年2月28日(木)	丸亀(四国)	15	19	36	四国支部スプリングセミナー同時開催
自走エリア	2019年3月8日(金)	福岡(九州)	9	21	41	
新規エリア	2019年3月11日(月)	上越(信越)	11	17	27	
自走エリア	2019年3月15日(金)	名古屋(東海)	11	16	29	
		計	86	157	263	

※全参加者…男性経営者や管理職など傍聴者と、ロールモデルなど事務局を含む総数

■プログラム(最終開催地となる名古屋の例)

時間	プログラム	備考
13:00～	開会	
13:10～	女性活躍推進部会の取組について	
13:25～	動画「ケーブルテレビ業界の女性リーダーたち」	
13:45～	グループ内自己紹介	
14:15～	講演「働く女性のために 役立つ10のキーワード」 (株)ソニー・ピクチャーズ エンタテインメント DTH/デジタルプラットフォーム営業部 本部長 小澤 浩子 氏	
15:45～	グループワーク (テーブルごとにロールモデルを配置し、キャリアプランシートに基づきグループ内で共有、発表)	
17:15～	閉会・写真撮影	
17:45～	懇親会	※希望者のみ

2018年度 全国8都市 プログラム詳細

※赤字が自走エリアと特徴的なプログラム

	札幌 (1/29)	広島 (2/7)	大阪 (2/15)	青森 (2/19)	丸亀 (2/28)	福岡 (3/8)	上越 (3/11)	名古屋 (3/15)	備考
映画「ドリーム」上映	—	○	—	○	—	○※	○	—	※3/11も上映
「業界の女性リーダーたち」動画	○	○	○	○	○	○	○	○	
講演	○	○	—	○	○	—	○	○	
取組紹介／特別セミナー	—	○	—	—	○	—	—	—	
パネルディスカッション	○	—	—	—	—	○	—	—	
グループワーク	○	○	○	○	○	○	○	○	
開催社見学／イベント見学	○	○	○ (テクノフェア見学)				○		
懇親会	○	○	○	○	○	○	○	○	※希望者のみ

映画「ドリーム」上映	権利元ほか、関係者のご協力の元に、上映。「逆境に負けず夢を追い続けた女性たちの姿」がテーマとなっており、ケーブルテレビ業界をはじめ、あらゆる「働く女性」の背中を押してくれる内容。
「業界の女性リーダーたち」動画	業界で働く女性リーダーや上司のインタビューをまとめた約15分の動画を作成。現地に赴けるロールモデルの数は限られているため、動画という形で上映。1社単位だと少ない「女性リーダー」も、業界で見ると多数いることが伝わる内容。
講演	「女性活躍推進の動向」や「女性が働くためのキーワード」をテーマに講演を実施。
パネルディスカッション	参加者が共通に感じている悩みや課題意識をロールモデルに質問。パネルディスカッションを通して、会場全体で、共通テーマに関する解決の方向性を共有することで、グループワークの時間を有効に活用できるとともに、アイスブレイクの役割を果たす。
グループワーク	ロールモデルや他参加者とのグループトークなどを通して、ハードルを越えるためのヒントを提供する。また、話をするだけでなくアウトプットとして、キャリアプランシートを記入してもらうことで、より意識を明確化し、モチベーションを大きく上げるプログラム。
各社取組紹介・社内見学	開催支部内での優れた取組みやケースを共有する。他社の事例に触れる機会は数少ないので、ダイバーシティや女性活躍推進に限らず、様々なケースを知り、推進している方の想いや熱量に触れることで、次なる行動を促すプログラム。

JCTA WOMAN WORKSHOP in 札幌 開催報告

実施日時	2019年1月23日(水)14:00～
実施場所	株式会社ジュピターテレコム 札幌カスタマーセンター / 北海道札幌市
参加人数	合計26名 (参加者15名、登壇者3名、事務局6名、オブザーバー2名)

プログラム

13:30	受付開始	
14:00	開会 活動紹介	開会のご挨拶と活動紹介 「女性活躍推進部会の取り組みについて」 (一社)日本ケーブルテレビ連盟 女性活躍推進部会部会長 飯塚 雅子 氏
14:20	動画放映	「業界で働く女性リーダーたち」の映像を上映
14:40	講演	「なぜ、いま女性活躍なのか～生き活きとライフと仕事を両立させるために～」 株式会社ジュピターテレコム お客様サポート副本部長 野橋 亜弓 氏
15:40	パネル ディスカッション	参加者の事前アンケートで多かった質問をパネルディスカッション形式で投げかけ 【パネラー】 株式会社ジュピターテレコム お客様サポート副本部長 野橋 亜弓 氏 株式会社秋田ケーブルテレビ 取締役 兼 コーポレート本部長 飯塚 雅子 氏 株式会社ジュピターテレコム 札幌カスタマーセンター 森 滋美 氏
16:20	グループトーク	少人数形式でロールモデルとのグループトークを実施 【ロールモデル】 ※パネルディスカッションに登壇いただいた3人がそのままロールモデルへ
17:30	見学	札幌カスタマーセンター見学
18:30	懇親会	※希望者のみ



JCTA WOMAN WORKSHOP in 広島 開催報告

実施日時	2019年2月7日(木)12:00～
実施場所	株式会社ちゅピCOMふれあい 会議室 / 広島県広島市
参加人数	合計22名 (参加者14名、登壇者3名、事務局2名、オブザーバー3名)

プログラム		
11:30	受付開始	
12:00	映画上映	「ドリーム」鑑賞 (希望者のみ)
14:20	開会	開会のご挨拶 株式会社ちゅピCOMふれあい 執行役員管理部部長 土井 俊裕 氏
14:25	活動紹介	「女性活躍推進部会の取り組みについて」 (一社)日本ケーブルテレビ連盟 女性活躍推進部会部会長 飯塚 雅子 氏
14:40	動画放映	「業界で働く女性リーダーたち」の映像を上映
15:00	取組紹介	「ぐるぐる中四国関西 ケーブル女子団の取り組みについて」 石見ケーブルテレビジョン(株) 制作編成部 次長 魚田 典子 氏
15:15	講演	「働く女性のために 役立つ10のキーワード」 (株)ソニー・ピクチャーズ エンタテインメント DTH/デジタルプラットフォーム営業部 本部長 小澤 浩子 氏
16:35	グループトーク	少人数形式でロールモデルとのグループトークを実施 【ロールモデル】 株式会社秋田ケーブルテレビ 取締役 兼 コーポレート本部長 飯塚 雅子 氏 株式会社ソニー・ピクチャーズ エンタテインメント DTH/デジタルプラットフォーム営業部 本部長 小澤 浩子 氏 石見ケーブルテレビジョン株式会社 制作編成部 次長 魚田 典子 氏
17:45	見学	ちゅピCOM社内見学
18:30	懇親会	※希望者のみ



JCTA WOMAN WORKSHOP in 大阪 開催報告

実施日時	2019年2月15日(金)13:00～
実施場所	株式会社ジェイコムウエスト 大阪セントラル局会議室 /大阪府大阪市
参加人数	合計60名 (参加者42名、登壇者9名、事務局5名、オブザーバー4名)

プログラム

12:30	受付開始	
13:00	ロールモデルとのグループディスカッション (第一部)	<ul style="list-style-type: none"> ・ダイバーシティ/女性活躍とは ・男女ともにキャリアアップ時代へ ～女性が生み出したヒット商品から考える～
14:20	テクノフェア見学	<p>グループに分かれてテクノフェアを見学</p> <p>【テクノフェア展示見学】テクノフェア担当者にアテンドいただき複数ブースを見学</p> <p>【テクノフェアセミナー参加】</p> <p>下記どちらかのセミナーに参加</p> <p><ルーム1> 放送の高度化対応とハイブリッドキャストにかかる取組について</p> <p><ルーム2> 集合住宅対策ソリューション「HCNA」の最新状況</p>
16:00	ロールモデルとのグループディスカッション (第二部)	<ul style="list-style-type: none"> ・テクノフェア見学で学んだこと、最新技術活用サービス提言など ・行動宣言作成 ・行動宣言発表
	動画上映	「女性活躍推進部会メンバーからのメッセージ」の映像を上映 ※大阪より2018Ver
	提言書贈呈	テクノフェア実行委員会村瀬委員長 (※) にグループディスカッションの結果をお渡し ※近鉄ケーブルネットワーク(株) 技術本部 副本部長
18:30	懇親会	テクノフェア主催の懇親会※希望者のみ



※テクノフェアと同時開催
技術者しばりもない参加者が、思考を開放して、最新技術活用サービス提言にまで挑戦する意欲的なプログラム!!



JCTA WOMAN WORKSHOP in 青森 開催報告

実施日時	2019年2月19日(火)13:00～
実施場所	青森ケーブルテレビ株式会社 会議室 / 青森県青森市
参加人数	合計22名（参加者13名、登壇者4名、事務局4名、オブザーバー1名）

プログラム		
12:30	受付開始	
13:00	開会	開会のご挨拶 青森ケーブルテレビ株式会社 代表取締役社長 佐藤 健一 氏
13:05	活動紹介	「女性活躍推進部会の取り組みについて」 (一社)日本ケーブルテレビ連盟 理事 二瓶 浩一 氏
13:15	動画放映	「女性活躍推進部会メンバーからのメッセージ」の映像を上映 ※2018Ver
13:35	講演	「働く女性のために 役立つ10のキーワード」 (株)ソニー・ピクチャーズ エンタテインメント DTH/デジタルプラットフォーム営業部 本部長 小澤 浩子 氏
14:55	グループトーク	少人数形式でロールモデルとのグループトークを実施 【ロールモデル】 株式会社ソニー・ピクチャーズ エンタテインメント DTH/デジタルプラットフォーム営業部 本部長 小澤浩子 氏 株式会社ジューピターテレコム CEO 室 広報部長 石井 暁美 氏 青森ケーブルテレビ株式会社 総務局経理担当部長 三上 牧子 氏
16:25	映画上映	「ドリーム」鑑賞（希望者のみ）
18:45	懇親会	※希望者のみ



JCTA WOMAN WORKSHOP in 丸亀 開催報告

実施日時	2019年2月28日(木)13:00～
実施場所	オークラホテル丸亀 12階カトレア / 香川県丸亀市
参加人数	合計36名 (参加者19名、登壇者5名、事務局3名、オブザーバー9名)

プログラム		
12:30	受付開始	
13:00	開会	開会のご挨拶 株式会社愛媛CATV 代表取締役社長 宮内 隆 氏
13:05	活動紹介	「女性活躍推進部会の取り組みについて」 (一社)日本ケーブルテレビ連盟 女性活躍推進部会部会長 飯塚 雅子 氏
13:15	動画放映	「女性活躍推進部会メンバーからのメッセージ」の映像を上映 ※2018Ver
13:30	特別セミナー	第44回日本ケーブルテレビ大賞 グランプリ総務大臣賞 受賞局セミナー 「番組アワードグランプリ受賞者が語る番組制作にかける想い」 激流と闘う乙女たち～栄光への軌跡～ ケーブルテレビ徳島(株) 番組制作部 主任 宮本 あゆみ 氏 (株)池田ケーブルネットワーク 放送営業企画課 辺見 知佳 氏
14:40	講演会	「働く女性のために 役立つ10のキーワード」 (株) ソニー・ピクチャーズエンタテインメント DTH/デジタルプラットフォーム営業部 本部長 小澤 浩子 氏
15:50	グループトーク	少人数形式でロールモデルとのグループトークを実施 【ロールモデル】女性活躍推進部会メンバー 飯塚 雅子 氏 / 小澤 浩子 氏 / 中野 真理子 氏 (※) ※ (株)ジュピターテレコム 人事本部人財開発部 人財開発グループ長
17:30	情報交換会	※希望者のみ



JCTA WOMAN WORKSHOP in 福岡 開催報告

実施日時	2019年3月8日(金)11:30～
実施場所	(株)ジェイコム九州メディアプラザ 会議室 /福岡県福岡市
参加人数	合計41名 (参加者21名、パネル5名、事務局5名、オブザーバー10名)

プログラム

11:00	受付開始	
11:30	映画上映	「ドリーム」鑑賞 (希望者のみ)
13:50	開会	開会のご挨拶 日本ケーブルテレビ連盟九州支部 理事 / 株式会社ジェイコム九州 代表取締役社長 徳田 瑞穂 氏
14:00	活動紹介	「女性活躍推進部会の取り組みについて」 (一社)日本ケーブルテレビ連盟 女性活躍推進部会部会長 飯塚 雅子 氏
14:10	取組紹介	九州女性活躍推進グループ
14:15	動画放映	「女性活躍推進部会メンバーからのメッセージ」の映像を上映 ※2018Ver
14:30	パネル ディスカッション	「女性活躍とか言ってないで、話してみよう！」 【モデレーター】日活株式会社 取締役執行役員メディア事業部門長 石田千佳子氏 【パネリスト】 名古屋テレビネクスト株式会社 代表取締役社長 小崎 千恵 氏 株式会社ジェイコム九州 取締役福岡局長 小森 智幸 氏 株式会社ジェイコム九州 北九州局営業部長 山田 耕司 氏 株式会社ジェイコム九州 熊本局 管理部 小園 紫 氏
16:10	グループ ディスカッション	少人数形式で男女一緒にグループディスカッションを実施 【テーブルリーダー】九州女性活躍推進グループメンバー 【サポーター】モデレーター・女性パネラー・女性活躍推進部会 部会長 飯塚雅子氏
17:45	写真・見学	集合写真・ジェイコム福岡社内見学 (希望者のみ)
18:30	懇親会	※希望者のみ



※男性管理職がパネルディスカッションとグループディスカッションへ初参加!!
参加した男女ともに、好反応で、次年度展開への試金石となった。



JCTA WOMAN WORKSHOP in 上越 開催報告

実施日時	2019年3月11日(月)12:00～
実施場所	上越ケーブルビジョン株式会社 会議室 /新潟県上越市
参加人数	合計27名 (参加者17名、パネル3名、事務局2名、オブザーバー5名)

プログラム

11:00	受付開始	
12:00	映画上映	「ドリーム」鑑賞 (希望者のみ)
14:20	開会	開会のご挨拶 日本ケーブルテレビ連盟信越支部 支部長 / 上越ケーブルビジョン (株) 代表取締役社長 齋藤 俊幸 氏
14:30	活動紹介	「女性活躍推進部会の取り組みについて」 (一社)日本ケーブルテレビ連盟 女性活躍推進部会副部会長 石井 暁美 氏
14:45	動画放映	「女性活躍推進部会メンバーからのメッセージ」の映像を上映 ※2018Ver
15:00	講演会	「働く女性のために 役立つ10のキーワード」 (株) ソニー・ピクチャーズエンタテインメント DTH/デジタルプラットフォーム営業部 本部長 小澤 浩子 氏
16:20	グループトーク	少人数形式でロールモデルとのグループトークを実施 【ロールモデル】女性活躍推進部会メンバー 小澤 浩子 氏 / 石井 暁美 氏 / 木原 美和 氏 (※) ※ (株)ケーブルテレビ富山 経営管理部 課長
17:45	見学・写真	上越ケーブルビジョン メインスタジオ見学 集合写真撮影
18:45	懇親会	※希望者のみ



JCTA WOMAN WORKSHOP in 名古屋 開催報告

実施日時	2019年3月15日(金)13:00～
実施場所	株式会社コミュニティネットワークセンター 第1・2会議室 / 愛知県名古屋市
参加人数	合計29名 (参加者16名、パネル6名、事務局4名、オブザーバー3名)

プログラム

12:30	受付開始	
13:00	開会	開会のご挨拶 (一社)日本ケーブルテレビ連盟 女性活躍推進部会 主査 (株) ジュピターテレコム 執行役員 コーポレート部門 副部門長 徳田 康次 氏
13:05	オリエンテーション	ビルの注意事項や当日のプログラムについて
13:10	活動紹介	「女性活躍推進部会の取り組みについて」 (一社)日本ケーブルテレビ連盟 女性活躍推進部会 徳永 啓子氏/ 前田 希 氏
13:25	動画放映	「女性活躍推進部会メンバーからのメッセージ」の映像を上映 ※2018Ver
13:45	グループトーク	グループ内自己紹介と事前課題の共有
14:15	講演会	「働く女性のために 役立つ10のキーワード」 (株) ソニー・ピクチャーズエンタテインメント DTH/デジタルプラットフォーム営業部 本部長 小澤 浩子 氏
15:45	グループトーク	少人数形式でロールモデルとのグループトークを実施 【テーブルリーダー】 (株) コミュニティネットワークセンター 水野 早矢香 氏 江口 明日香 氏 / 田島 奈津美 氏 / 松本 納梨子氏 / 山本 知慧 氏
17:15	閉会	閉会のご挨拶 (株) コミュニティネットワークセンター 代表取締役社長 高原 昌宏 氏
17:45	懇親会	※希望者のみ

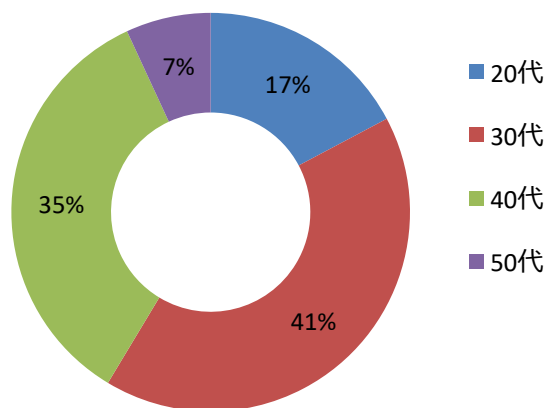


JCTA WOMAN WORKSHOP（全国8都市開催） 2018年度 アンケート結果

有効回答数：122

※開催地によってオリジナル設問あり（n数は設問によって異なる）

回答者年代（n=87）

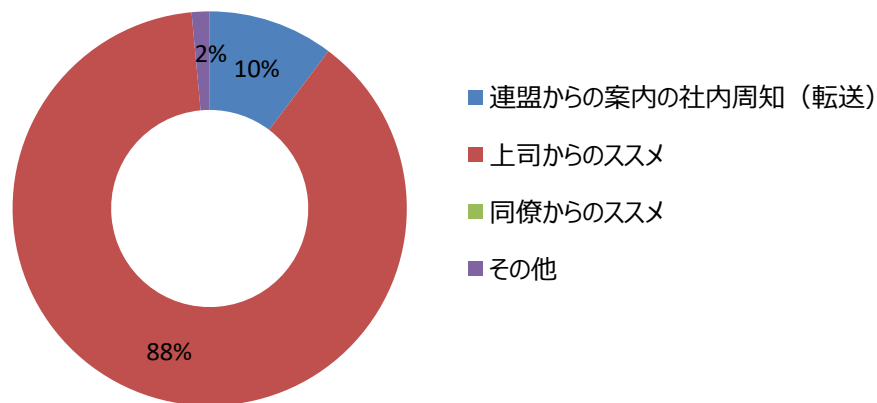


※備考:各アンケート項目には、右の記号で、
女性活躍推進部会のレビューコメントを
添えておりますので、参照ください。



なお、アンケートのまとめ中では、スペースの都合上、
JCTA WOMAN WORKSHOP = JWWと
省略表記している箇所がありますので、ご注意ください。

Q. 今回のイベントをどのように知ったか



【「その他」の詳細 (一部抜粋)】

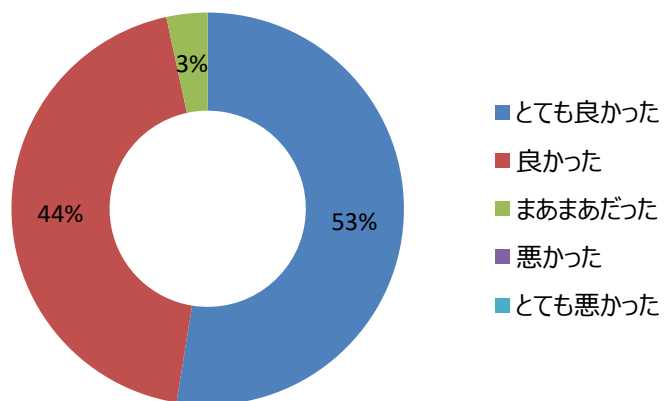
- ・勤務先の拠点長より女性社員に対して一括周知があり、挙手制にて参加。
- ・局長より、女性社員全員に JCTA WOMAN WORKSHOP 開催の周知連絡。
- ・局長から従業員全員へメール送信。
- ・社内のダイバーシティWGに参加しているため。



※連盟からの加盟社に向けた発信は、連盟担当窓口が届くため、その後の各社幹部のアクション次第で、届き方も変わる点に留意。
2019年度は、過去参加者への直接周知経由の現場拡散も視野に!!

Q. イベント全体の内容について

("5"を良かった"1"を悪かったとし、感想をお聞かせください。)



【ご意見 (一部抜粋)】

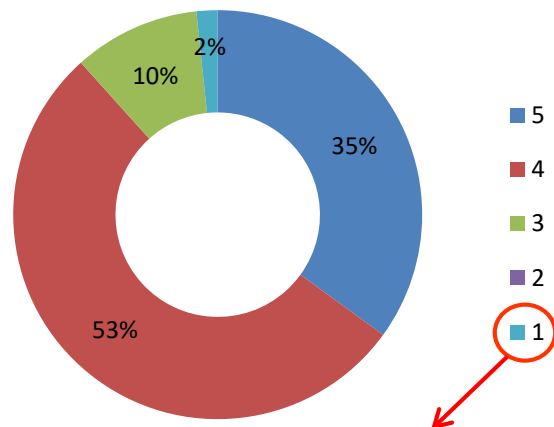
- ・職場に上司や先輩など、年上の女性が居ないので、他社の第一線で活躍されている方々の様々な経験談等を聞くことが出来、今後に生かせる事が多々あった。
- ・自分ももっと頑張れると、シナジー効果でモチベーションがアップした。
- ・自分の部下にこそ受けてほしい内容だと感じた。
- ・女性特有の陥りやすい思考について教えていただいた。自社にもどり、有効活用できそう。
- ・管理職目線で分析して下さったため、自分だけでなく人に話すときにも役立つ内容だった。
- ・数年後の自分・未来の自分について考える、とても良い機会を与えていただいた。
- ・子育てと仕事の両立で、正直日々の仕事をこなすことで精一杯になっている状況だったが、どんな自分でありたいのかを考えながら仕事をする事で、自分の未来を変えられる気がした。



※参加者の意識改革や仕事への臨み方に変化の手ごたえ。
ただし、参加者が、その瞬間のモチベーションアップで終わっていないか？
部会レビューでは、今後は、体験後のフォローアップなども視野に!!との意見あり。

Q.「女性活躍推進部会メンバーからのメッセージ動画」について (大阪以降 6 開催地で上映した、2018年Ver)

(「5」を良かった「1」を悪かったとし、感想をお聞かせください。)



1「悪かった」というよりは、
プログラムの時間配分に関するご意見。
※グループトークの時間がさらにほしかった。

【ご意見（一部抜粋）】

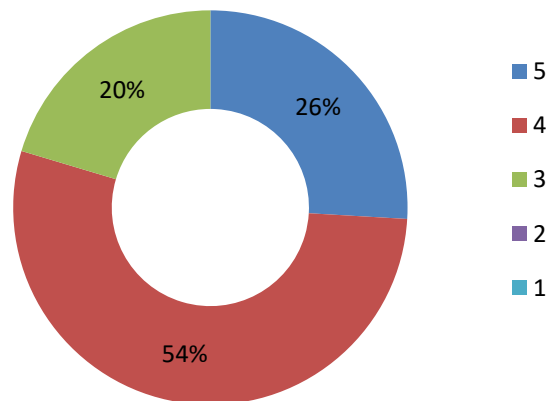
- ・ 社内で共有したい沢山のメッセージが詰まった動画だった。
- ・ もしも自分が将来何かを任されたとしても、頑張ろうという勇気が出た。
- ・ 始業前に見てモチベーションアップしたいので、連盟HP上などでアップロードして欲しい。
- ・ 現場の最前線に立っておられる方だからこそ、メッセージを素直に受け止めることができた。
- ・ 「私にも出来るかな、ではなく、私達だから出来る事がある、という気持ちで臨む」など、心に残るメッセージが幾つもあった。
- ・ 「管理職になったら見ている景色が変わる」という言葉が印象的でした。今は自分の仕事で精一杯。自分には無理と決めつけていた。この言葉を聞いて、私も見てみたいと思った。



※JWWに参加できない
方々への動画展開を検討

Q.「女性活躍推進部会の取組」紹介について

(「5」を良かった「1」を悪かったとし、感想をお聞かせください。)



【ご意見（一部抜粋）】

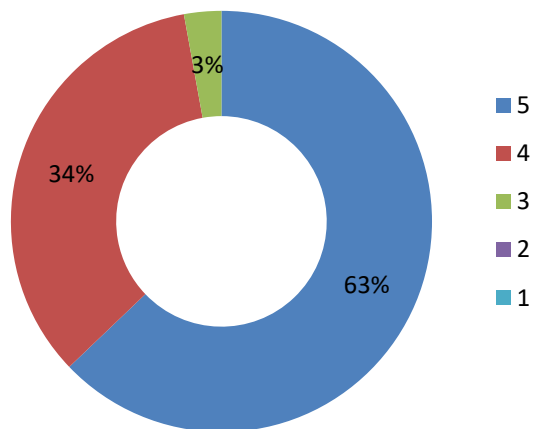
- ・ 精力的に推進されていることがよく分かり、自分も微力ながら何か協力できればと思った。
- ・ 「すべての意欲ある人に活躍と成長の場を」という言葉を聞き、前向きになれるいい言葉と思った。
- ・ 男性だけで考えられたものではなく、女性の意見を活かして活動しているので共感できた。
- ・ 内容もさることながら、中心的に進めておられる方々の熱量や姿勢に共感できた。
- ・ 全国各地で少人数開催を重ねている点、上からの押しつけではなく、横で寄り添うような活動をされている運営方針がよい。
- ・ まだ一部にしか浸透していないので、もっとたくさんの女性社員が参加できるように周知したい。



※活動の拡がりに課題

Q.映画ドリームについて

(“5”を良かった“1”を悪かったとし、感想をお聞かせください。)



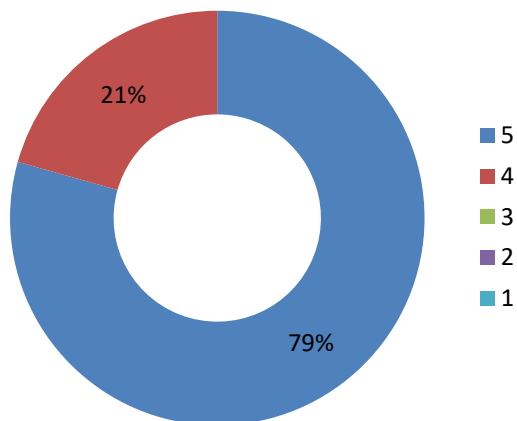
※映像を介した“成長マインドセット(★)”の獲得は有効!!
★「努力や発想次第で成長できる」という考え方

【ご意見（一部抜粋）】

- ・ 自らの可能性や能力を信じる強い信念を貫く姿に共感した。
- ・ 今回のセミナーで多く取り上げられた「本人の意思」の重要性をより感じさせられた。
- ・ あきらめずに課題をオープンにすれば、先進的で平等に評価してくれる人もいてスカッとした。
- ・ 女性の能力を理解し、周りの目を気にせず、障壁を取り払おうとする男性上司にあこがれを感じた。そのようにありたいと思う。
- ・ 私たちも変化することができるかと確信した。
- ・ 「環境が整っていないから」「子供がいるから」等は言い訳でしかなく、自分が何がやりたいのか、そのためにどうしていくのかを考えさせられる前向きな内容だった。
- ・ 夢を持ってよいんだということを学んだ。

Q.講演会について

(“5”を良かった“1”を悪かったとし、感想をお聞かせください。)



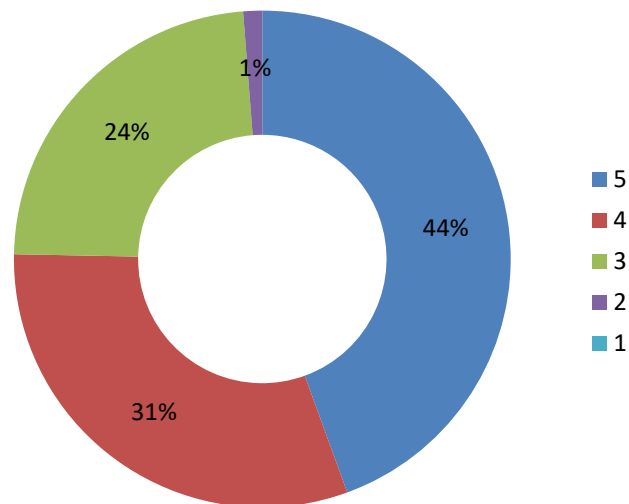
※部会レビューでも“女性活躍推進”という打ち出し方については多様な意見あり。活動の方向性をしっかりと定めていく必要がある。

【ご意見（一部抜粋）※下記は講演者お二人分をまとめて掲載】

- ・ 一般的なダイバーシティ研修とは違い、マネジメント目線でのお話は勉強になった。
- ・ 世界的なデータ潮流を説明いただき、日本の働き方について考えさせられた。
- ・ ガラスの天井は自分が作っていることもある（自信がないから）ということに気付いた。
- ・ **正直、「女性活躍推進」という言葉を前面に押し出すことに抵抗があったが、本当の意味の女性活躍推進が何なのか、少し理解できた。**
- ・ “新しい景色を見てみよう”という言葉が胸に、日々新しい仕事にチャレンジしようと意を強くした。
- ・ この機会に自分と向き合っていて変わっていく。これから、10のキーワードを心に留めて働いていきたい。
- ・ 自分の肩の荷がずっとなくなるくらい軽くなった。自分だけの悩みではないんだと思った。
- ・ めぐってきたチャンスをつかむ勇気が必要なことを痛感。

Q.グループワークについて

(“5”を良かった“1”を悪かったとし、感想をお聞かせください。)



※参加した女性社員の皆さんが抱える悩みの多さ、多様さに、経営層、管理職も耳を傾けていただきたい。
ただし、これは、女性に限ったことだろうか？
半日のプログラムで、様々な気づきを得て、思考が解放されていく様子、それぞれの展望を感じている様子を確認するに、女性に限らず、日々の業務に忙殺されている多くの社員にとって、こうした社外の皆さんとのグループセッションの機会是有効な施策と言えそう。
各社単位で取り組める活動もあるのではないだろうか？

【ご意見（一部抜粋） 評価5～4】

- ・ 自分だけで考えているとなかなか開けた考えが浮かばないことが多かったが、同じことで悩んでるひとの生の声を聞いて、**希望が見えた気がした。**
- ・ **今悩むことではなかったと気づくことができた。**
- ・ 自分だけが悩んでいるわけではないという当たり前のことに気づくことが出来たし、様々なアドバイスをいただくことで、とても**ポジティブになれた**と感じている。
- ・ 職場に女性が少ないので、貴重で楽しい時間だった。
- ・ **同業他社の人たちの話をもっと聞きたかった。時間が足りないと思う。**
- ・ 気持ちや考えを順序立ててシートに書き出すことで、考えも纏まりやすく、様々な意見や提案が聞けて、とても**晴れやかな気になった。**
- ・ 様々な方の考え方に触れ、視野が広がり、**将来の目標が見えてきた。**
- ・ 自分をさらけ出すのが恥ずかしかったが、とても良い経験となった。
- ・ すべてのロールモデルの皆さんと話せるよう、テーブルを回って欲しい。

【ご意見（一部抜粋） 評価3～1】

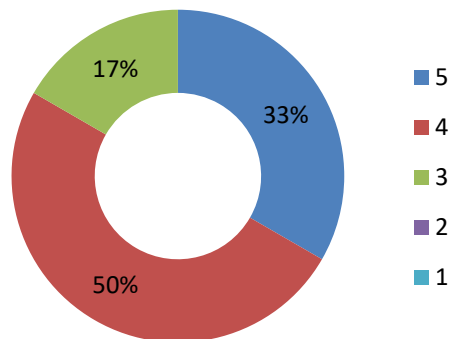
- ・ グループトークで様々な意見交換ができたが、**もっと時間があれば**、各自のキャリアシートをもとに、さらに議論を深めることができた。
- ・ ロールモデルの方や同じグループの皆さんのお話をもっと伺いたかった。
- ・ ひとり一人の悩みが、仕事の内容や年代によって違うため、背景理解のプロセスで時間を要した。各地で、ロールモデルを何人用意いただけるか？によることは承知しているが、**3～4人のグループで進める**ことができれば、さらによい。

その他独自プログラムについて 【セミナー等】

【広島：取組紹介

「ぐるぐる中四国・関西 ケーブル女子団の取組」について

(“5”を良かった“1”を悪かったとし、感想をお聞かせください。)



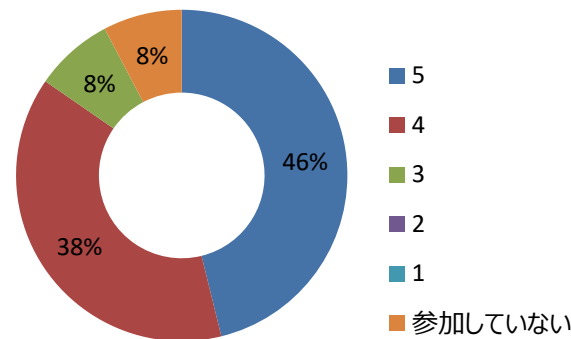
- ・ 広域連携番組のブレークスルーを女性のセンスに託した「ケーブル女子団」の取組みは、番組制作に新たな切り口を提供することとなり、大変良い企画フレームだと思う。
- ・ 部署問わず団員を募集されているということなので、自分も何らかの形でお手伝いができればと思った。
- ・ 番組制作されている方々の、エリア情報を伝えたい気持ちと、自分自身が楽しんでいる姿が素敵だった。
- ・ なんでもまずはやってみようという姿勢は、見習いたい。
- ・ 女子団事務局として、活動を知ってもらえる機会を与えていただき、感謝。魚田団長の熱い思いを皆さんにお伝えできて嬉しかった。



※ケーブルテレビ業界内の優れた番組には、制作者や被写体の想いがたくさんつまっており、映像による“成長マインドセット”の獲得施策として有効。
各支部内でのイベントや勉強会等での視聴機会づくりを推奨したい。

【丸亀：第44回番組アワードグランプリ受賞局セミナー】

(“5”を良かった“1”を悪かったとし、感想をお聞かせください。)



- ・ 過酷な取材現場にもかかわらず、視聴者、地域の人々の思いを優先して取材を進めた経緯など、男女を問わず、番組制作者として最も大切な基本的な考えや思いを再認識。
- ・ 地元と映像に賭ける熱意が伝わり、感動して泣きそうになるほどだった。
- ・ 困難な撮影にも果敢にチャレンジしていて、自分も番組作りを頑張ろうと思った。
- ・ 激しいスポーツの中継と、丁寧に関係者の表情を撮り続けたドキュメンタリーのバランスが素晴らしく、クリエイティブな領域で頑張る方々の姿勢に感動。

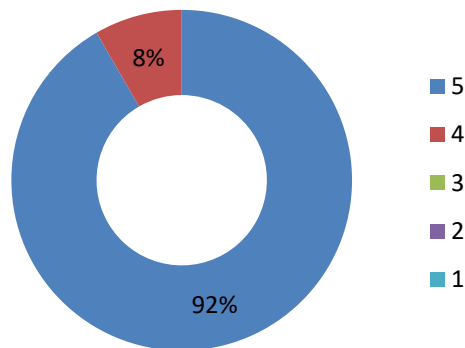
※備考：グランプリ総務大臣賞「激流と闘う乙女たち～栄光への軌跡～」

～2017年10月に初めて日本で開催されたラフティングに挑む女性たちの軌跡を、徳島県のケーブル事業者2社の女性ディレクター2人が中心に、制作した番組。

その他独自プログラムについて 【パネルディスカッション】

【札幌：パネルディスカッションについて】

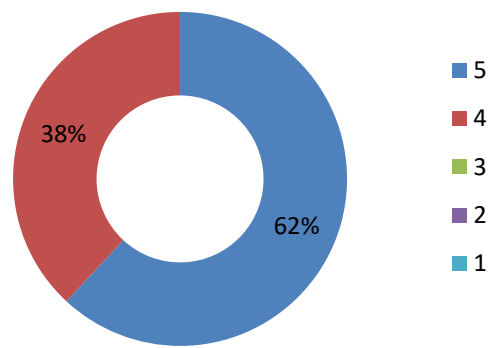
("5"を良かった"1"を悪かったとし、感想をお聞かせください。)



- ・ 初のパネルディスカッション聴講だったので新鮮で、異なる立場のパネラーの意見をじっくり考えながら、伺うことができた。
- ・ 事前募集した質問に関するディスカッションだったので、参加者にとっても、興味のある内容ばかりだったと思う。
- ・ 回答が三者三様で、それぞれ心に響く言葉があり、大変良かった。
- ・ 「管理職がゴールではない、選択肢の一つ」・・・社内に広めたい。
- ・ 「周囲とのコミュニケーションの大切さ」にかかわるやり取りは、大変勉強になり、むしろ女性の方が周囲に気を配れると思うので、実践していこうと思う。

【福岡：パネルディスカッションについて】

("5"を良かった"1"を悪かったとし、感想をお聞かせください。)



- ・ パネラーに男性がいたことで、各種テーマに関して、**男性意見も聞くことができたのは収穫。**
- ・ **女性、男性と分けて「女性活躍」と言ってる時点で、女性を蔑視しているように感じたが、意外と女性は男も女も関係ない、という考えの人が多く感じて頼もしかった。**
- ・ 自分が率先して動くことの大事さを学んだ。また、自分が時間に制限があることで、後ろめたい気持ちがあったが、この環境を転機だと捉え、限られた時間の中でどれだけ成果を上げることができるか挑戦的な気持ちで業務に臨みたい。
- ・ 雇用機会均等法の施行直後のご苦労を、明るくポジティブに紹介いただき、現在の環境で、どう自分が頑張るか？と問われた気がした。
- ・ **今後は男性比率をさらに増やしてもよい。女性にとっても新鮮だが、男性にとっても気づみや学びもあったとのコメントを聞いて、これからの過ごし方が変わりそう。**



※業界内のロールモデルによるパネルディスカッションは有効!!



※詳細は、次頁にゆずるが、今回の取組みは次年度への試金石となった。

その他独自プログラムについて 【福岡：パネルディスカッション、グループディスカッション】

【男女一緒に良かった点】

- ・ パネラーの皆さんはどの方も率直に、素直に発言していただけた感謝。育児休暇など、考え方や捉え方の違いを聴けた点がよかった。
- ・ 男性目線の意見を聞くことが出来て、考えが深まりました。
- ・ **性別、年齢など、いろんな立場の人が一緒に話をするほうが、理解が深まり、新しいアイデアも出やすいのではないと思う。**
- ・ 性差でイベントを開催する必要がなくなれば、それだけ垣根がとれたという事かもしれないが、一方でテーマによっては、女性だけとつても、既婚独身、子どもの有無などの状況の違いで、働く環境も全く違い、それぞれに悩みがある。**悩ましいが回を重ねて欲しい。**
- ・ 女性目線の意見だけではなくその場で男性目線の意見を聞く事により、意見に偏りが無く、**お互いの意見を尊重しながら意見交換ができるので張り合いのあるとても活発な話し合いができた**と思います。
- ・ **何よりも、参加された男性の方々の理解が進んだことを実感できたこと。**
- ・ 互いの考えがわかり、双方にメリットがある。



※理解のある男性管理職であるからこそ、このプログラムに参加いただけたことを考慮する必要はあるが、参加した双方にとって貴重な機会となった。**悩ましいが回を重ねて欲しい**というコメントが、等身大の状況ととらえ、次年度の展開に向けて、しっかり検討を重ねたい。

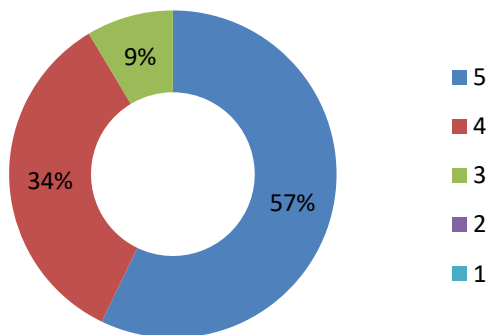
【男女一緒に開催することの課題】

- ・ 男性がグループ内で1人だったので、**遠慮されている様子**も感じた。男女比が同じくらいの方がバランスが取れるのではないと思う。**女性ばかりだと女性上位で話が進んでいく傾向**があるなと感じた。
- ・ 互いの意識改革がまだまだであるあかしでもあるが、**仮に自分の上司がその場にいたら忌憚ない意見は出し辛かった**かもしれない。
- ・ **タイトルにWOMANと付いているので、男性は参加するのに抵抗があるのではと感じた。逆の意見もあるかもしれない。**
- ・ 女性の中には、普段男性には相談しにくい内容で悩んでいる方もいると思うので、**女性だけでお互いの悩みを話す時間も用意**してあるとよい。
- ・ 女性活躍のためには、「男性の意識改革」が不可欠だと思う。せっかく男性も参加しているので、**男性の意識を変えるためのディスカッション**もあれば良かったと思う。男性の育児・家事負担→女性活躍→世帯の総所得UPなど、女性活躍は男性にとってもメリットがあるはず。
- ・ チームリーダー以上の管理職の方々にもっと参加してもらいたいところ。男女で分けて考えずに、体力と生理現象の違いで人を見ると局長が言われていて、賛同した。すべての上司がそのような考えだったら、女性は活躍しやすいのかなと思ったが、**道のりは遠い**かもしれない。

その他独自プログラムについて 【大阪：テクノフェア併催】

【グループディスカッション（ヒット商品から考える）について】

（"5"を良かった"1"を悪かったとし、感想をお聞かせください。）



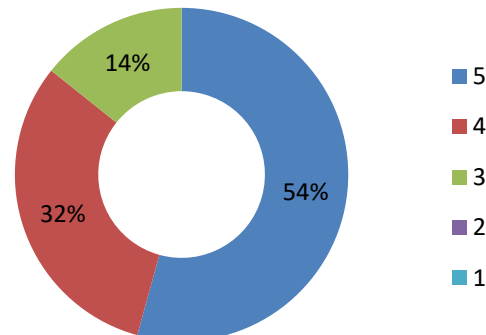
- ・ 共感が随所で生まれ、考えることや意見を出し合うことの喜びを体験できた。
- ・ 女性ならではの視点を考えることが出来、私の担当業務にも、女性ならではの気づける点はないだろうか？と考えるきっかけになった。
- ・ 女性ならではの視点で物事を考える大事さに気づけたことが、今後の業務に役立ちそう。女性が活躍する会社の業績が他に比べて高いことを、自社でもアピールできるよう、その一役を担いたい。
- ・ 主婦の視点、年齢によって変化する視点など、これまでにない発見があった。
- ・ 女性同士の商品開発議論には、男性と違い独特な勢いがあったのが新鮮。
- ・ 有意義なプログラムだったので、さらに時間が欲しいと欲が出たが、限られた時間でスピーディに意見をまとめる手法を体得できた。



※女性による「創発セミナー」という新しいプログラムとなった。メーカーやマーケティング・プロモーション会社などに限らず、当たり前の潮流となっているが、女性視点も生かしたソリューションやサービスの開発などは、各社の日頃の取組みとしても、取り入れていただきたい視点でもある。

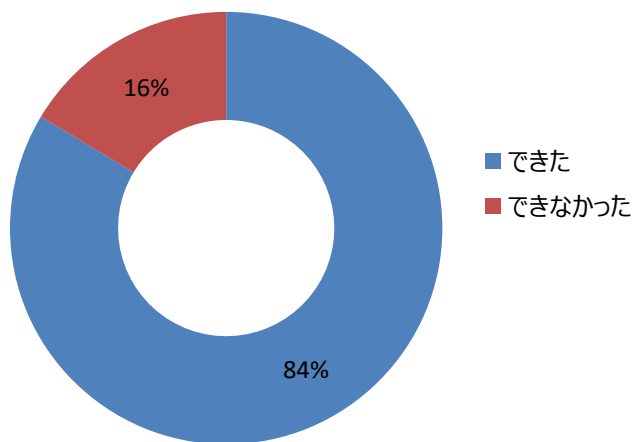
【グループディスカッション（テクノフェアで学んだこと）について】

（"5"を良かった"1"を悪かったとし、感想をお聞かせください。）



- ・ 女性目線だからこそうまれた提案をすることができ、とても達成感があった。
- ・ また別グループの発表もすべて視点が素晴らしく、色々な可能性を生み出せることに気づかせて頂いた。
- ・ もっと会社全体がこんな活気で何事にも参加できたら、また社の業績にもつながるのではないかと考えた。
- ・ それぞれ違う意見があり、自分では考えもつかない発想を聞くことができ、大変有意義だった。また、堂々とした発表を聞いて活力となった。
- ・ 技術分野に詳しくない方もいるので、テクノフェア見学では初心者にもわかりやすい説明を工夫いただけると、その後のディスカッションも深まると感じた。
- ・ 女性目線を取り入れることのメリット・デメリット双方を実感することができた。

Q.ロールモデルの話や、グループトークなどを通して、これまで抱えていた働くうえでの「課題」や「悩み」の解決、またはヒントを得ることはできましたか？（※自由回答）（※一部抜粋）



※参加された皆さんが、それぞれ、多くの珠玉の言葉を得て、社に戻られた様子が確認できる。14Pと重複するが、部会レビューでは、参加者が、その瞬間のモチベーションアップで終わっていないか？その後、どのような成果に繋がったか？どのような実践をしたか？などの課題意識あり。今後の検討テーマ。

【得られた「課題」や「悩みの解決」「ヒント」はどういったものでしょうか？】

- ・ 後輩の指導に悩んでいましたが、「成長するには成功体験を」や「かわいい子には旅をさせよ」というエピソードを早速生かしていきたい。
- ・ 新人教育について「周りに100%な上司がいないように100%を目指す必要はない」「一緒に仕事をする際は最初にゴールの姿を共有すること」などのお話をいただき、ぼんやりと感じていた新人育成への「不安」が「楽しみ」に変わった。
- ・ 「やりたいがチャンスを呼ぶ」という言葉が印象に残りました。わが子にも伝え、自分も実践!!
- ・ 「迷ったらやるほうを選択すると、何かが見える」ということ。
- ・ 将来の働き方のことで悩んでいたのですが、「まだ起きていない事で、数年でなにか変化がある可能性のほうが高い」と言われて、今できることは何かを考える方が有意義だと気づくことができました。
- ・ 「まずは、1歩を踏み出してみよう」という点、さらに「問題解決には個人個人の行動も必要だが、社内の体制づくりが大いに関係してくる」ということをはっきりと確信した。
- ・ 他の人に頼れないという課題に対して、「完璧を求めない」という解決策を知ることができた。
- ・ 仕事と家庭を両方100パーセントにしなくてもキャリアアップできる。
- ・ 「仕事への意欲や、改善策なども一人で悩むことはなく、周りに協力を求めてもいいんだ」ということがわかった。
- ・ 働く時間は短くても、その中で精いっぱい力を発揮しなくてはいけないという責任を自覚した。
- ・ 業務内容を改善してほしい際に、上司に対して感情的なアプローチではなく、数字や客観的な事実を伝えることの大切さに気づいた。
- ・ 今までの自分ではないくらい「前向き」な意志を持つことができた。また、何を言われても負けないように頑張ると思えた。

Q. キャリアシートの作成やグループ内での共有を通じ、今後のご自身のキャリアパスを考えるうえで、新たに得られた気づき、また明日から実践してみたい、と思ったことはありますか？

(※自由回答) (※一部抜粋)

- ・ どう働きたいのか？ということを考えるきっかけになった。
- ・ 出産・育児について年齢や将来のキャリアについて不安を感じていたのだが、「先々の不安を理由にチャンスを逃す理由がない」と気づいた。
- ・ 横のつながりや風通しの良い職場作りを心がけたい。
- ・ ちょっと違う風景を見てみることを選択肢の一つにしてもいいかなと思ったこと。
- ・ 自分がすべて引き受け過ぎず、もっと部下に協力を仰ぐこと。
- ・ 「“完璧な自分”を求めすぎなくていいのだ」と伺い、無意識にそう思っていたと気づいた。
- ・ 「上司に相談したら理解を得て解決につながった」という話を聞き、相談しなかったことでコミュニケーションが取れていなかったことに気づいた。
- ・ まずは自分自身を見つめ直して自己分析をしようと思った。
- ・ チャンスをつかむなど、普段の生活においても前向きに挑戦することの大切さを感じた。変わることを恐れなくて行動したいと思う。
- ・ 「ワークライフバランスは仕事と家庭を足して100にするのではなく、それぞれの値が一番大きくなる場所を見極めて、自分のスタイルに合わせていけばよい」は目からうろこだった。
- ・ 相談を受ける者として「あなたならできるよ」と応援する声掛けをしたいと思う。
- ・ どの悩みも、コミュニケーション不足が原因のような気がした。



※具体的な言葉として、書き下ろしていただくことは有効。
ブラッシュアップして、JWW以外でも使えるツールとしての提供も視野に。

Q. 今回のイベントや、今後新たに参加してみたいイベントなど、女性活躍推進部会へのご要望、ご意見があれば教えてください。

(※自由回答) (※一部抜粋)

- ・ 近場だったので上司の理解を得て参加できた。県単位開催を増やしていただきたい。
- ・ 出張の機会が少なく、社外の方々とのコミュニケーションが増えるような施策。
- ・ 素晴らしい話ばかりで、書籍とかDVD化してほしい。
- ・ 女性視点の業界横断プロジェクトを立ち上げるような機会があれば、参加したい。
- ・ 人事の立場としても、今後管理職を目指す立場としても非常に勉強させてもらった。
- ・ 女性が殻を破ることと同時に、(男性)上司からのバイアスを壊す必要もある。支部会などと併催して、男性管理職への講話も開催してほしい。
- ・ 決定権を持つ会社の幹部(男女問わず)向けにこそ開催して欲しい。
- ・ 男女両性の特長を活かせるような学びの場があるといいと思う。
- ・ 時短勤務中でのキャリアアップは難しいと感じており、子育てをしながら仕事でも成功している方のお話も伺いたい。
- ・ 子育てや介護、もしくは病気など、何か抱えてたり両立してる内容に分けて、ディスカッションなどできる場があるといい(子育て・介護は増えてきたと思う)。
- ・ 自社に提案するために、ダイバーシティ推進に関する他社の先進的な制度や取組を紹介してほしい(実績データなども拝見できるとありがたい)。
- ・ 3年後に目標が達成できているかを振り返るセミナーを受けたいと思った。
- ・ オンラインセミナー(講演会模様を5~10分位に区切って視聴できるなど)



※ケーブルテレビ業界に限らない、切なる要望/意見と理解。
特に、経営者層や管理職に対する施策については、今後のテーマ。